

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	(1)	65.7	2	(1) あ	93.6	3	(1)	75.5	4	(1)	81.5
	(2)	64.9		い	94.0		(2) ①	53.2		(2)	83.8
	(3)	15.1		う	92.5		②	36.2		(3) ①	93.6
	(4)	55.1		(2)	42.6		(3)	20.4		②	85.3
	(5)	32.5		(3)	51.7		(4) ①	15.8		③	8.8
	(6)	3.8		(4)	32.1		②	85.7		④	95.8
	(7)	45.7		(5)	38.9		(5) ①	49.1		(4)	90.6
	(8)	4.9		(6)	11.1		②	24.2		(5)	70.6
			(7)	11.3				(6)	80.0		
			(8)	7.6							

合格者最高点 57  
合格者最低点 24

1 (物理分野) 物体の運動に関する問題です。

- (1) タイマーの鳴る間隔を求める問題です。得点してほしい問題です。
- (2) 図で与えられている情報を表にまとめ直すと、規則性を見出しやすくなります。
- (3) 投げ上げられたボールはもっとも高い位置に到達したとき一瞬静止します。
- (4) 問題文の「P 点以外ではボールの中心が重なった」という情報をヒントに考えると、投げ上げられたボールがもっとも高い位置に到達するまでの時間と、もっとも高い位置から受け止められるまでの時間は等しいことが分かります。
- (5) (1) と (4) を合わせて考える問題です。投げ上げた瞬間に鳴っている 1 回を加算し忘れないことが大切です。
- (6) 実験 2 の結果を応用して考える問題です。考える力、正確で素早い計算力が必要です。
- (7) 速さを求める問題です。難しい問いばかりが続くとは限らないので、解けない問題があっても、諦めずに「次の問題は解けるかも知れない」とトライしてほしいと思います。
- (8) 実験 2 と 4 の結果を比べ、垂直方向のボールの動きが同じことに気が付けると解くことができる応用問題です。

2 (化学分野) 物質の溶けやすさの違いに関する問題です。

- (1) 学習メモから必要な情報をくみ取ります。得点してほしい問題です。
- (2) 単位がヒントです。
- (3) 実験 1 では水も液体 A も同じ 100mL なので、濃度の計算方法が分からなくても表 1 の「あ」が正しく求められていれば、答えが出せます。
- (4) 濃度の比は一定です。考える力、正確で素早い計算力が必要です。
- (5) ビーカー P では液体 A も水も同じ 200mL なので、固体 B の濃度の比は 4 : 1 となります。
- (6) , (7)  
操作の順に情報を整理していくと正解にたどり着くことができます。正確で素早い計算力が必要です。
- (8) (5) ~ (7) を解いていく中で、水からより多くの固体 B を取り除く方法に気が付いてほしい問題でした。

3 (生物分野) 干潟で生活している生物に関する問題です。

- (1) , (2)  
シジミについて知っていれば知識でも解けます。知らなくても、リード文などのヒントをもとに判断することができます。
- (3) 動物の特徴に関する問題です。①~③のすべてが正解していないと得点になりません。
- (4) ① ほとんどの受験生が「ア」は選べていました。
- (5) ① 問題文や図などで与えられた情報から判断する問題です。  
② すべてを選択しないといけない問題は正答率が低くなりがちですが、よく出来ていました。

4 (地学分野) 地形に関する問題です。全体的によくできていました。

- (3) ③ 土地の性質 (水はけのよさ) を述べられていれば 2 点、吸収された水が地下を流れていることを述べられていれば 2 点加点しました。ダムや森の木々による影響を述べているものは減点としました。
- (4) , (5)  
ニュースなどでよく耳にする言葉です。日頃から新聞を読むなど、関心を持つようにしてほしいと思います。